

## 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する当院からのお知らせ

2020年4月1日、日本生殖医学会より不妊治療に対する声明が出されました。

そのなかで、新型コロナウイルス感染症の影響については妊娠初期の胎児を含め不明な点が多いこと、万が一感染を来した場合の使用薬剤を含む治療に制限が掛かることが触れられています。このような背景から、国内での急速な感染拡大の危険性がなくなるまで、あるいは妊娠時に使用できる予防薬や治療薬が開発されるまでを目安として、患者様に対し不妊治療の延期を選択肢としてご考慮いただきたく存じます。

当院で治療中の患者様には、これまでも受診前の体温測定やマスクの着用、付き添いの自粛などでご協力をいただいておりますが、この声明を踏まえ今後の治療について当院では次のような推奨をさせていただきます。

- 採卵を含めて延期可能な治療については延期していただくこと
- 新鮮胚移植予定の方には、全胚凍結に変更の上、胚移植を避けること
- 凍結胚移植予定の方には、胚移植を中止していただくこと

なお、既に胚移植を実施された患者様および胚移植後妊娠判定の結果、陽性の反応があった患者様は、経過管理が必要となりますので、予定どおりご来院ください。

治療内容の変更および中止に際しては、患者様に於いては費用負担が生じることが考えられます。胚凍結費用および既に処方された薬剤費用については、申し訳ありませんが患者様にご負担いただくこととなります。

昨今の状況と声明を鑑み、皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

今後治療に関して、患者様からよくあると考えられる質問については下記に記載いたしましたのでご一読ください。

### 〈採卵について〉

A) 採卵に向けて治療中の患者様

- a) 採卵周期継続希望の患者様 → 予定通り採卵します
- b) 採卵周期中止希望の患者様 → 自然周期の方はご連絡不要です。治療をお控えください  
排卵誘発剤を使用中の方は、中止の上ご相談ください

B) 新たに採卵周期に入られることを希望の患者様 → 原則、治療をお控えください

※高年齢、卵巣機能不全のある方など時間的な余裕がなく治療継続を強く希望される方はご相談ください。ただし、採卵できた場合は全胚凍結を予定します

### 〈移植について〉

A) 移植に向けて治療中の患者様 → 使用中の薬剤があれば中止してください

※ホルモン補充周期中や、自然排卵が難しい患者様については薬剤での調整が必要になりますので、電話でご連絡の上、ご来院ください

B) 胚移植後の患者様 → 診療を継続いたしますので、予定日にご来院ください

### 〈その他〉

A) タイミング治療、人工授精治療希望の患者様 → 治療をお控えください

B) 検査（ERA等）周期の患者様 → 診察を継続いたします

C) 新規患者様、ナチュプレチェック → 診療を行います

なお、新型コロナウイルス感染症拡大により診療継続が困難になった場合は、すべての診療を中止する可能性がございます。それまでにかかった治療費につきましては患者様ご負担いただくこととなりますので、あらかじめご了承くださいませよう願います。

2020年4月2日  
神戸元町夢クリニック  
院長 河内谷 敏